

6 時限目

担当・尚志塾 4 期生 小泉正弘 医師

**両上肢の痛み痺れと左下肢の麻痺を伴った症例**

症例：47 歳 男性

主訴：①両上肢 Ty I ,Ty II の痛み、痺れ

②左下肢～膝の麻痺

③右肘 Ty I の痛み、腰 L3/4 の痛み

**【経年齢的病歴】**

- 5 歳 小児喘息
- 14 歳 右肘骨折
- 25 歳 痔の OP.
- 45 歳 下痢しやすい
- 46 歳 肩こり
- 47 歳 ①両上肢 TyI、TyII の痛み、痺れ  
②左下肢～膝の痺れ  
③右肘 TyI の痛み、腰 L3,4 の痛み

**【初診時の状況】**

背部 T2～5 T12～S1

- ①グーパーテスト：パーは右手が、段々と出来なくなる
- ②右上肢 TyI、TyII の麻痺
- ③右上肢拳上困難
- ④右下肢の痺れ

**【基本となる治療式と実際の処方】**

1. To/2d+c+a+L2～S1

2. rAxII//6/3!

3. rTyII//6/3!

**【治療後の変化】**

- ①両上肢 TyI、TyII の痛み、痺れ NRS10→3
- ②右肘 Ty I の痛み NRS10→3
- ③腰 L3/4 の痛み NRS10→5

**【病態分析】**

小児喘息：間脳、脳下垂体の炎症により Atlas (AyIII/c) が圧迫されて、神経細胞の蓄積、疑核、孤束核、副神経、迷走神経が関与

右肘骨折：局所

痔：肛門括約筋の筋肉収縮力が弱い。Atlas からの影響で延髄の疑核、副神経に炎症

下痢：延髄の迷走神経の炎症による神経線維の不完全圧迫

肩こり：延髄の副神経の炎症による神経線維の不完全圧迫

## 左大脳の出血或は塞栓の症状：

- ・右上肢 TyI、TyII の麻痺
- ・右上肢挙上困難
- ・右下肢陰経の痺れ

右肘 TyI の痛み：SC L4/5 の神経線維の不完全圧迫

腰痛：SC T12～S1 の炎症 神経線維の不完全圧迫

## 【見落としていた所見】

O1-Y が脳出血或は塞栓である認識は予診の時になかった。

1. TyI、TyII の肩（上肢）の痺れ  
脳出血或は塞栓の症状のひとつとは知らなかった。
2. いつから箸を持つことが出来ないのかの確認をしなかった。
3. 下肢陰経の感覚を問診及び診察で確認しなかった。

## 【Dr.KO の解説】

### O<sub>1</sub>-y の世界

#### ■ 5 歳

小児喘息は Atlas (AyIII/c) の炎症により延髄が圧迫された結果、間脳・下垂体の細胞蓄積症状と延髄孤束核の圧迫症状（粘膜障害）、副神経の圧迫

症状（筋力の大小）と疑核の圧迫症状（括約筋の筋力の強弱）が関与。

#### ■ 25 歳

痔：延髄の炎症による疑核の圧迫症状により肛門括約筋の筋肉収縮力が弱くなった。更に、延髄の炎症による神経線維の不完全圧迫

#### ■ 45 歳

下痢しやすい：

延髄の炎症による副神経の神経線維の不完全圧迫

#### ■ 46 歳

肩こりを自覚した。

#### ■ 47 歳

延髄の炎症が更にひどくなり、迷走神経の機能低下に伴い SC L4/5 の神経線維の不完全圧迫（テニス肘）を引き起し、更に SC T12～S1 に及んだ結果、「腰痛」を起した。

#### 47 歳

左大脳の出血或は塞栓の症状

左大脳（中内・中外）、c+a（脊髓皮質路）に障害を起した。

- ① 右上肢 TyI、TyII の麻痺
- ② 右上肢挙上困難
- ③ 右下肢陰経の痺れ



ENRAC